

順位	氏名（議席）	発言の要旨
15	萩野 基行（12）	<p>1. ペットボトルキャップ回収の推進について</p> <p>近年、SDGsの取組やプラスチック資源循環促進法の施行に伴い、市民のリサイクル意識が非常に高まっている。</p> <p>そのような中、子供から高齢者まで誰でも容易に参加できる取組の1つにペットボトルキャップの回収運動（エコキャップ運動）がある。これは、ごみとして捨てられるペットボトルキャップを回収することにより、リサイクルの促進、CO₂の削減に加え、リサイクル資源として売られた収益が、認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）に寄附され、途上国の子供たちへのワクチン支援活動に役立てられている。</p> <p>本市においても、一部の学校や企業、社会福祉協議会等で取り組まれているが、ペットボトル本体のリサイクル率90%に対し、キャップのリサイクルはまだまだ認知度が低いようである。そこで、本市における資源の再利用と途上国への医療支援の推進について、以下伺う。</p> <p>(1) 現在、回収したペットボトルキャップをどのように処理しているか。</p> <p>(2) 一部の学校では、エコキャップ運動を行っているようだが、市内全小中学校に展開できないか。また、単に集めるだけでなく、なぜ分別が必要か、世界の医療事情はどうなっているのか等のSDGsの観点から教育を行うことはできないか。</p> <p>(3) 市役所本庁舎や地区まちづくりセンターなどの公共施設へ回収ボックスを常設し、市民への周知活動ができないか。</p>